

湖北広域行政事務センター

新斎場整備運営事業



植栽工事を行っています

植栽とは？

植栽とは、樹木や地被類(ちひるい)などを植えることを言います。植栽を行うことにより、空間がきれいにかつ機能的に構成されます。【※地被類－地表面を覆うように地面を隠すために植栽する植物のこと。(芝やコケなど)】

工事状況



植栽の種類

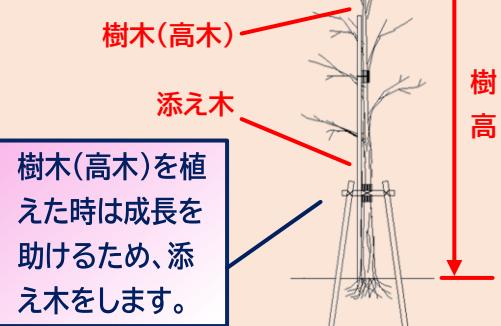
植栽は樹高(※木の高さのことです)により、高木・中木・低木に分類されます。

- ①高木(こうぼく) - 樹高3m以上の木を言います。(例:クスノキ・イチョウ・モミジなど)
- ②中木(ちゅうぼく) - 幹高1m以上3m未満の木を言います。(例:サザンカ・キンモクセイなど)
- ③低木(ていぼく) - 樹高1m未満の木を言います。(例:ツツジ・ナンテン・アジサイなど)

今回の工事では

今回の工事では、ページ上部にあります完成予想図でもご覧になれますように、敷地内や建物周りに、四季折々の花々を配置し、四季の情景と故人のお別れが記憶に残るものであるよう計画しています。また、長浜市や米原市の花木である「ケヤキ」・「ウメ」・「イチョウ」・「サツキ」なども植栽に交えています。敷地北側の築山には、高さ約5mのアラカシを設置するなど、敷地内に幅広く植栽を行い、新斎場の独立した豊かな緑地環境づくりを行っています。

【植栽図】



樹木(高木)を植えた時は成長を助けるため、添え木をします。